

# 深夜労働従事者の就業実態と雇用管理 調査研究報告書

近年、価値観やライフスタイルの変化等により、雇用・就労形態の多様化が進むとともに、24 時間創業、小売業・飲食店の長時間営業によるサービス提供が拡大しているが、深夜労働においては、健康管理面や安全面の配慮、仕事と家庭両立への配慮等が求められ、深夜業従事者の人材確保のためにも、雇用管理のあり方について検討を行う必要がある。

本調査研究は 2 年計画の初年度にあたり、小売業・飲食店における深夜営業の実態と労働者の就業実態、雇用管理の現状と問題点などを把握するために、事業所・就業者双方へアンケート調査を実施し、その結果をとりまとめたものである。

## 研究委員会

(主 査)	梶 原 豊	明治大学政治経済学部 特別招聘教授
(委 員)	大 木 栄 一	職業能力開発総合大学校能力開発専門学科 助教授
	田 口 和 雄	機械振興協会経済研究所 研究員
	谷 津 正 信	UIゼンセン同盟政策局 流通・サービス政策副部長(H16.10.31まで)
	千 頭 洋 一	UIゼンセン同盟政策局 流通・サービス政策(H16.11.1から)
	山 田 修 嗣	文教大学国際学部 専任講師

## 目 次

【 A 4 判 133 頁】

- 第 部 調査結果の概要と示唆
- 第 部 深夜営業の実態と雇用管理の取り組み：店舗調査
- 第 部 深夜労働従事者の就業実態と意識：従業員調査

## アンケート調査の実施方法

調査時期：平成 17 年 1 ～ 2 月

調査対象：労働組合（産別組織）を通じて、小売業および飲食店のマネジャー 1,681 名、従業員（正社員、パート等を含む）3,362 名

回 収 数：店舗マネジャー：有効回収数 532 票（回収率 31.6%）

従 業 員：有効回収数 984 票（回収率 29.3%）

上記調査研究報告書が必要な方は、当センターまでご連絡ください。  
TEL：03-3434-5681 FAX：03-3434-5320 Mail：earc@earc.or.jp  
印刷部数に限りがございますので、在庫がない場合はコピーを送付いたします。